

科目名 小児疾患の病態と診療	授業担当者 平山 雅士	所属 中通総合病院 医局	
開講時期:前期～中期	単位数:1 単位	時間数:15 時間	
授業の目的 心身の成長・発達の過程や、その異常と種々の疾患を学び、小児の特性に配慮した各疾患の具体的な看護につなげる。			
授業の概要 小児は成長・発達の時期であり、病態や疾患が成人とは異なる場合が多い。 小児期に多い疾患を取り上げ、考える。			
受講上の注意・事前学習の内容			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	成長発達:小児の特性としての成長発達について 小児救急:火傷、溺水、熱中症、誤嚥、誤飲などについて	講義	
2	出生前診断:遺伝、遺伝子病、胎児病などについて 新生児疾患:病的新生児、低出生体重児について	講義	
3	代謝・内分泌疾患:小児期にみられる内分泌疾患(クレチン病・成長ホルモン分泌不全)について	講義	
4	免疫:免疫の現象と先天性免疫不全症などについて 感染症:小児期に多いウイルス性・細菌性感染症などについて	講義	
5	呼吸器疾患:急性上気道炎や肺炎を中心に 循環器疾患:先天性心疾患を中心に、川崎病、起立性調節障害などについて	講義	
6	血液疾患:血液の成り立ち、貧血など血液疾患を中心に 腫瘍疾患:小児に多い腫瘍性疾患、白血病などを中心に	講義	
7	消化器疾患:小児に多い消化器疾患(肥厚性幽門狭窄症・腸重積症など)を中心に 泌尿器疾患:腎・尿路の働きとその疾患について	講義	
8	神経疾患:先天性の神経疾患について 精神疾患:精神の発達とその障害について	講義	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 小児臨床看護各論 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります